

電波時計について

電波時計とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

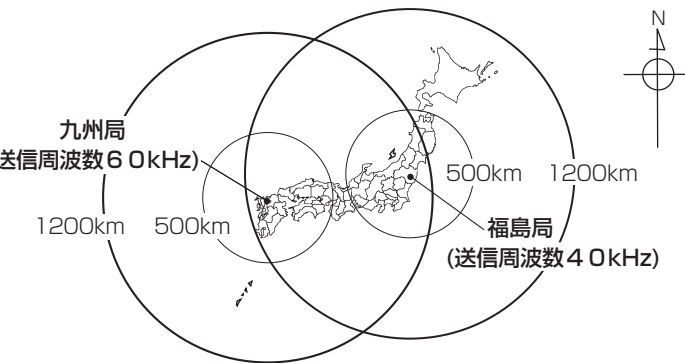
日本標準時をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局:おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jijy.nict.go.jp)

受信可能な範囲

送信所からおよそ約1200kmの範囲です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



○この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

○日本以外の標準電波は受信できません。海外で利用した場合、まれに日本の標準電波を受信して、日本の時刻を表示したり、誤った時刻を表示することがありますので、電波受信機能を停止させてください。「7. 電波受信機能のON/OFF操作」参照。

○送信所の定期点検や落雷などにより、標準電波の送信が止まる場合があります。

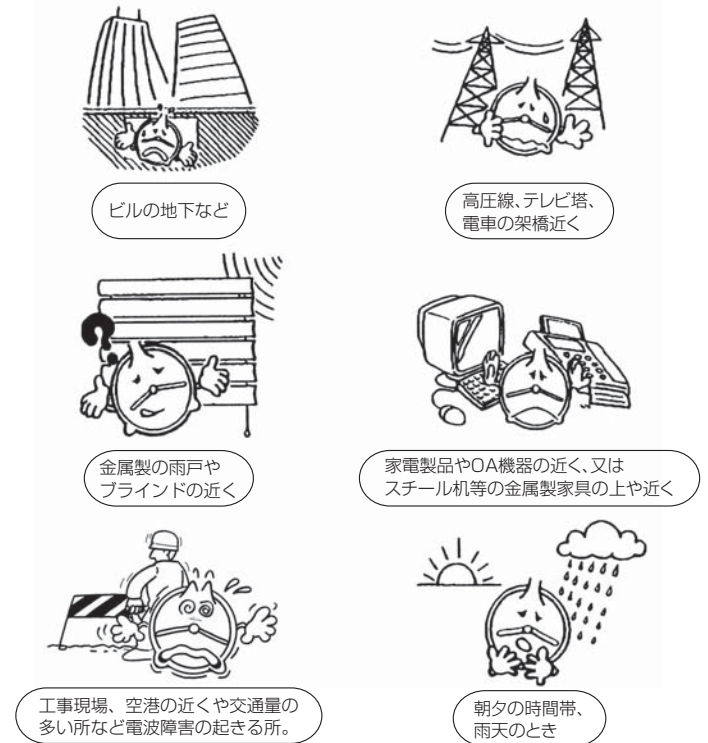
ご使用場所について

電波の受信しやすいところでご使用ください。

この時計は標準電波を受信することにより、時刻を修正しますので、電波の受信しやすい部屋の窓際などでお使いください。

電波を受信しにくい環境について

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。



ご使用場所の注意

下記のような場所では使わないでください。機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+50℃(50度)以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃(氷点下10度)以下になる所。プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。
- 浴室など、湿気の多い所。
- ほこりが多く発生する所。空気中のちり等が機械部にたまって、時計が止まる場合があります。
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁気の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まる場合があります。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

ご使用上の注意

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

警告 この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。**注意** この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)

禁止 この表示は、してはけない「禁止」内容です。**強制** この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告 小さな部品は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

分解禁止 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

注意 時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

アルカリ電池について

●電池からもれた液が目に入った場合は、失明するおそれがありますのですぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。

●ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

電池一般について

電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります。

- + (プラス)、- (マイナス) を逆に入れてください。
- 指定された新しい電池を使用してください。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池の混用をしないでください。
- 使い切った電池は速やかに取り出してください。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。
- 電池交換時は、電池と時計の端子(接触部)の汚れを落とすしてから入れてください。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、2~3年に一度の点検・調整(有料)をおすすめします。販売店にご相談ください。

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよこれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 時計を掛けたとき、静電気により、時計および壁面が汚れることがあります。定期的に掃除をしてください。

おもな製品仕様

時間精度	標準電波の受信に成功した場合の表示誤差(受信直後) 表示精度 秒針 ±1秒 時計・分針 目盛りに対して±3度
自動受信回数	標準電波を受信しない場合 平均月差 ±20秒 (常温中のクォーツ精度)
時報精度	受信に成功している場合:1日1~3回 受信に失敗している場合:1日12回(最多)
時報音	表示時刻に対して±1秒
報時音	電子音メロディ(6曲)
使用温度範囲	-10~+50℃
使用電池	単1形マンガン乾電池(JIS規格 R20P) 4個
電池寿命	約1年間 (メロディ:音量大、1日17回)
その他	標準電波による時刻修正、受信表示ランプによる受信結果の表示、電波受信ON/OFF機能 明暗センサーにより 暗所での秒針、メロディ、受信表示ランプの停止 メロディ報時、メロディモニター、音量調節機能 飾り振子、回転飾り 電池交換時期お知らせ機能

※付属の電池は、工場出荷時に入れていますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。

※電池寿命は、標準電波の受信に成功しているときのものです。※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品			
木ねじ	1個	取扱説明書	本書
単1形マンガン乾電池	4本	保証書	1枚

CITIZEN 電波時計(メロディ報時付掛時計)取扱説明書

取扱説明書番号 M276-CXXY

～ 製品の特長 ～

標準電波を受信して正しい時刻に修正

毎正時にメロディを奏でます

暗くなると自動的にメロディが鳴らなくなります

お買い上げありがとうございます。

○ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

○この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

発売元 リズム時計工業株式会社

本社 ☎330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

CITIZEN はシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品(電子回路、歯車等)は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品(ケース・文字板等)の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。(保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。)

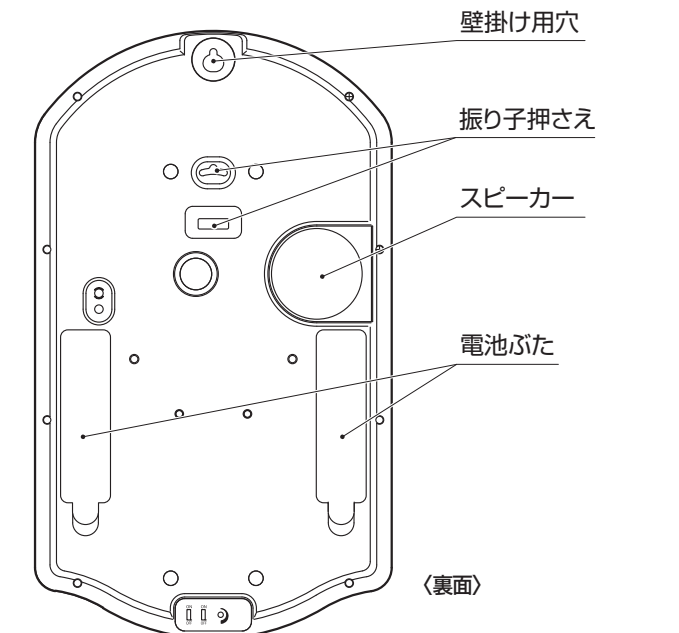
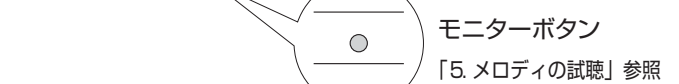
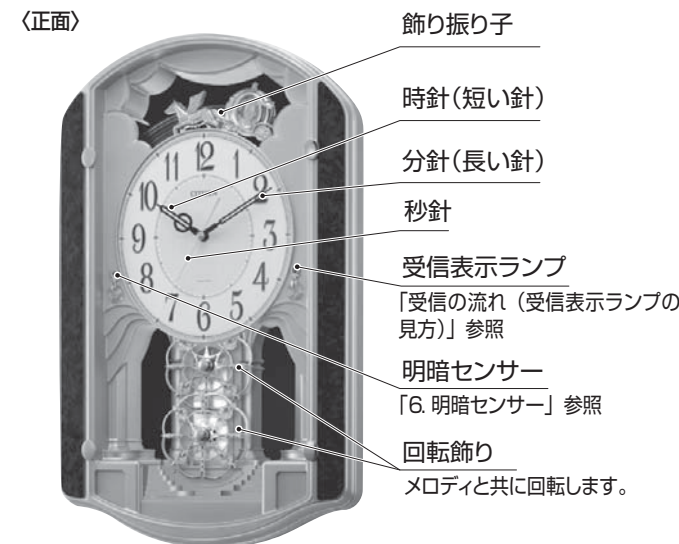
お問い合わせ先

■お客様相談室 フリーダイヤル☎0120-557-005

受付時間 9:00~17:00
(土日、祝日および当社休日を除く)

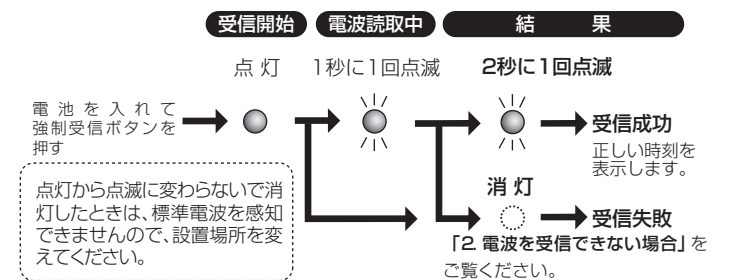
1. 電波を受信させて時刻を合わせます

※図は操作説明用ですので、実際の商品と異なる場合があります。

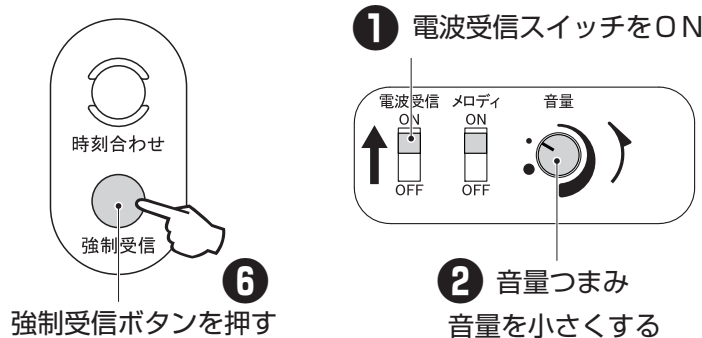


時計・分針・秒針の動き
通常表示
時計・分針：10秒に1回動きます。
秒針：1秒ステップで動きます。
自動修正
時計・分針：早送りで順方向に動きます。一時停止することもあります。
秒針：早送りで順方向に動きます。12時位置に停止することがあります。

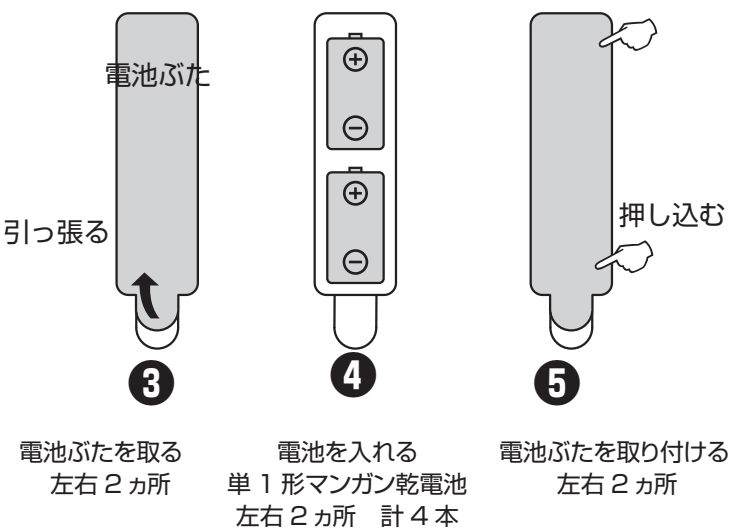
受信の流れ (受信表示ランプの見方)



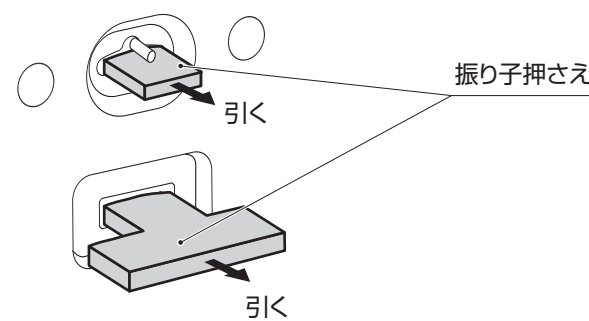
【裏面操作部】



【電池の入れ方】



7. 2カ所の振り子押さえを取り外す



手で時刻を合わせるときは、「3. 手動での時刻の合わせ方」を参照してください。

◎電波を受信しやすい窓際などでご使用ください。

- 電波受信スイッチをONにする
☞「7. 電波受信機能のON/OFF操作」参照。
- 音量を小さくする
電池を入れた後、大きな音でメロディが鳴り出すことがありますので、音量を最小にしてください。
- 電池ぶたを取り外す
図のように引っ張って電池ぶたを取り外してください。
- 電池を入れる
電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて指定の電池を入れます。
※電池を交換するときはずべて指定の新しい電池を使用してください。☞「8. 電池交換時期のお知らせ機能」参照。
- 電池ぶたを取り付ける
電池ぶたを差し込み、電池ぶたを押し込んでください。
- 強制受信ボタンを押す
電波の受信を開始します。受信には最長 15 分程度かかります。
☞「受信の流れ (受信表示ランプの見方)」参照
○受信中はボタン操作をしないでください。
○針は受信中停止したままですが故障ではありません。受信が終わると針が早送りで動き時刻を示します。
○電池を入れた直後、設置場所を変えたときなどは必ず強制受信ボタンを押してください。

- 振り子押さえを取る
振り子押さえは、輸送時などの振動や衝撃から保護するためのものです。ご使用になるときは取り外し、輸送するときに取り付けてください。
- 時計を掛ける
「時計の掛け方」に従い、時計を確実に掛けてください。
- 受信結果を確認する
受信表示ランプの状態を確認します。
受信成功：2秒に1回点滅→そのままお使いください。
受信失敗：消灯→「2. 電波を受信できない場合」へ。
※受信に失敗している場合、時刻は正しくありません。
※受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。強制受信ボタンを押して再度受信させてください。

■メロディスイッチの設定

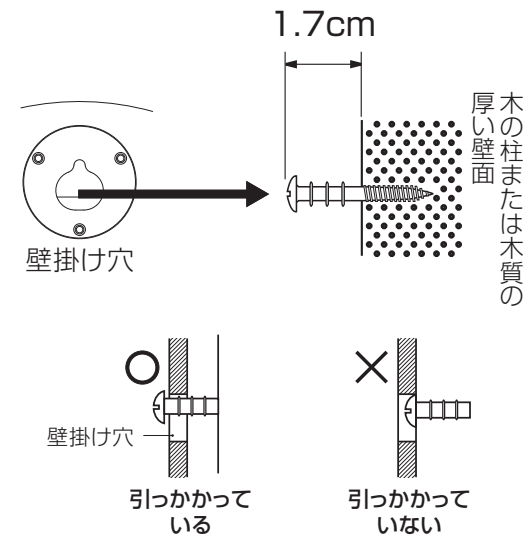
O N: 毎正時にメロディが鳴ります。
O F F: 毎正時に鳴りません。
音量を調節してご使用ください。☞「4. 音量の設定」参照。
※曲は時刻ごとに固定されていません。
※曲目は時計本体に表示してあります。
※ONでも暗くなると自動的にメロディが鳴らなくなります。
☞「6. 明暗センサー」参照

時計の掛け方

- 時計の掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。
- 時計を垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。
- 時計を掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

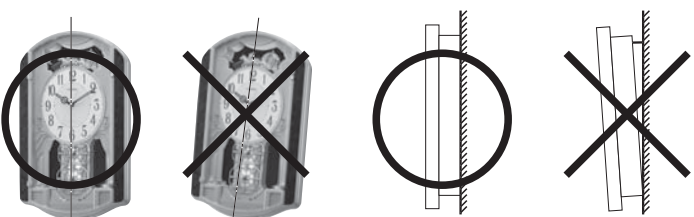
- 付属の木ねじを使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



その他の壁面の場合

- 上記以外の場所(石膏ボード、コンクリートなどの壁面)に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

垂直に掛けないと振り子が止まる場合があります。



2. 電波を受信できない場合

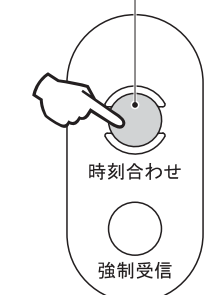
- 翌朝まで待つ
一般的に、夜間は電波の受信がしやすくなりますので、受信できるか翌朝まで様子を見ます。表示されている時刻が大きく違っている場合は、「3. 手動での時刻の合わせ方」に従い時刻合わせをして翌朝まで待ちます。翌朝まで待っても受信できない場合は、設置場所を変える必要があります。
- 時刻合わせをしてその場所を使用する
ベランダなど屋外で、電波の受信に成功させるか、手動で時刻合わせをしてからご使用ください。この場合、電波を受信できないため、時間精度はクオーツ精度になります。
※電波を受信しにくいところで使用すると、ノイズにより誤った時刻を表示するおそれがありますので、電波を受信しやすいところでお使いになるか、電波受信機能を OFF にしてお使いになることをお勧めいたします。☞「7. 電波受信機能の ON/OFF 操作」参照。

3. 手動での時刻の合わせ方

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。
※時刻合わせボタンを離しているのに、針が早送りで動いている場合は、通常の針の動きになってから操作してください。
※手動で時刻合わせをしても、電波受信機能がONのときは、受信に成功すると自動的に時刻は修正されます。

時刻合わせボタンを押すと、時計・分針・秒針が動き始めます。
○時刻合わせボタンを押して、すぐに離れた場合は1分進みます。
○時刻合わせボタンを押し続けた場合は、早送りで動きます。このとき、秒針は12時位置になったときに停止し、ボタンを離れたときに動き出します。

時刻合わせボタン



秒針の動きについて

秒は、時刻合わせボタンを離れたとき、「0秒」に設定されます。秒針が早送りで動いているときに、時刻合わせボタンを離すと、そのまま早送りで現在時刻の秒位置まで動き、その後1秒ステップで動きます。

電池からの液もれに注意



時計が止まった状態で、電池を入れたままにすると、電池からの液もれにより、時計や壁面・家具などに損傷を与えます。時計が止まったら、電池を取り出すか、電池を新しいものに交換してください。

4. 音量の設定

モニターボタンを押すと、1曲メロディを奏でますので、鳴っている間に音量つまみを回して調節してください。

5. メロディの試聴

モニターボタンを押すとメロディを1曲奏でます。鳴っている間にモニターボタンを押すと、曲が切り替わります。つぎの正時には、最後に鳴った曲の次から鳴ります。

6. 明暗センサー

明暗センサーが暗いと判別した場合、秒針は12時位置に到達したところで停止します。また、受信表示ランプが消灯し、毎正時のメロディが鳴らなくなります。センサーは、時計の周囲の明るさに反応しますので、昼間や夜間の照明時などでも明るさが不足して、反応することがあります。十分に明るいところで秒針が12時位置で停止する場合は、「8. 電池交換時期のお知らせ機能」をご覧ください。

7. 電波受信機能のON/OFF操作

電波受信スイッチをOFFにしますと、電波の受信を行わずに、クオーツ精度で時刻を表示します。受信できない、誤受信しやすい場所で使用する場合、意図的に表示時刻を変えてお使いになる場合などのときにOFFにします。

- 受信に成功した状態で、電波受信スイッチをOFFにすると24時間以内は、受信表示ランプが点滅することがあります。
- 電池を入れたときや強制受信ボタンを押したときには、電波受信スイッチがONのときと同様に受信表示ランプが点灯し、時分針および秒針が早送りしたりしますが、受信は行わずに時刻の表示になります。

電波受信スイッチOFFでの電池交換について

すべての電池を交換し、強制受信ボタンを押してください。針が時刻を示した後、必要に応じて、手動で時刻合わせをしてください。

8. 電池交換時期のお知らせ機能

電池の残量が少なくなると秒針が明るいところでも12時位置で停止します。停止してから1ヵ月程度は、時分針は時刻を表示しますが、お早めに電池を交換してください。放置すると電池からの液もれが発生し、故障や汚れの原因になります。※お知らせ状態になってから、時計が停止するまでの期間は、ご使用状態により変動します。